

地域再生とまちづくり

——各都市が目指すものは

<第19回>

明石駅前南地区は、1日約10万人という県内第3位の乗降客数を誇るJR明石駅や国道2号に接し、南は淡路島での回路を結ぶ交通の要衝であり、明石の玄関口、市内最大の商業集積地でもある。しかし、98年の明石海峡大橋開通により海上ルートの利用が減少。明石駅と港との間の歩行者の回遊性が大きく低下し、加えて大規模小売店舗（ダイエー）の

マンションは完売

そのため明石市では10年11月、中心市街地活性化基本計画を策定し、市民や観光客へのサービスを改善し便利で満足できる中心街、回遊環境を

兵庫県明石市・活性化を図る駅前再開発と課題

駅前再開発事業である。事業は明石駅南側にペデストリアンデッキで駅と直結した住宅棟と施設棟からなる複合型施設の開発を行うものだ。住宅棟は、南側に明石海峡、北側に明石城を臨むこと

整え地域資源を活かした快適で楽しい中心市街地——をコンセプトとした活性化方針を掲げている。この核となる事業が明石駅前南地区の



国道2号以南にある「魚の棚」商店街

回遊の拠点とし、新たな賑わいと憩いを創出する空間と位置づけている。

食へ歩き企画「明石まちなかバル」の開催などを通じて、明石特産品の魅力、商店街の情報発信を継続している。



人の動きに危機感も出る「ほんまち商店街」



駅前再開発で誕生した住宅棟と施設棟

集約で回遊性に懸念 「一歩足伸びる」商店街へ

ができる地上34階建てのタワー型分譲マンション「クラウドタワー明石」で、全199戸が完売した。

明石の港に近く鯛、蛸、穴子といった地域名産の鮮魚を取り扱う鮮魚店が多数軒を連ねる「魚の棚」商店街があるが、個人商店が中心で現在は人通りが閑散とした場所が多く、観光客の足も駅前周辺で止まってしまい、人の動きが商店街まで波及していると言われている。

だが、駅前再開発によるコンパクトシティ化がかえって明石駅前の集中化を招き市街の回遊性を阻害するのではな

市は商店街の活性化のため「一歩足を伸ばして楽しめる街にする」をスローガンに、国道2号南側の1日平均通行量を、15年の1万6737人から20年に2万人とする目標を立てるとともに、商店街の

「日本不動産研究所神戸支所 林政徳」